

開催速報！大阪では13年ぶりの開催、歌川国芳の大規模個展

幅広い画題の浮世絵版画や貴重な肉筆画など、約400点を展示

「歌川国芳展 一奇才絵師の魔力」開催

2024年12月21日（土）～2025年2月24日（月・休）／大阪中之島美術館 4階展示室

大阪中之島美術館（所在地：大阪市北区 館長：菅谷富夫）は、**大阪で13年ぶりとなる大規模な歌川国芳の個展**「歌川国芳展 一奇才絵師の魔力」を、2024年12月21日（土）～2025年2月24日（月・休）の会期で開催します。

本展は、“国芳展の決定版”として、武者絵や戯画をはじめとした幅広い画題の浮世絵版画や貴重な肉筆画など、**約400点を展示**します。

なお、**本展の詳細は、2024年10月頃の発表を予定**しております。概要は以下の通りです。



江戸っ子アートのラスボス！

歌川国芳展

一奇才絵師の魔力 UTAGAWA KUNIYOSHI

2024 12/21 (土) → 2025 2/24 (月・休) 大阪中之島美術館

NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA



主催：大阪中之島美術館、読売新聞社 協賛：菅谷産業、SBC日興証券、8んでん、大阪ハウス工業、伊藤忠商事 お問い合わせ：06-4301-7285 (受付時間) 09:00～21:00 (休館日) https://naka-art.jp

《 報道関係者お問い合わせ先 》

「歌川国芳展 一奇才絵師の魔力」PR事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：06-6231-4440 E-MAIL：kuniyoshi2024@tm-office.co.jp

開催趣旨

江戸末期の浮世絵師、歌川国芳（1797 - 1861）は、無尽の想像力と圧倒的な画力によって、斬新な作品を数多く世に生み出しました。その奇想天外なアイデア、現代にも通ずるデザイン力やユーモアは、浮世絵という枠や時代を超えて多くの人々を魅了し、国内外で高い人気を誇ります。

30歳代始めに「水滸伝」の英雄たちを描き、遅咲きの成功を手にした国芳は、美人画と役者絵を頂点とする当時の浮世絵界で、武者絵を新たに人気ジャンルへと押し上げました。3枚続きの大画面に大胆に描かれた武者絵、ユーモアや機知に富んだ戯画、西洋画法を取り入れた風景画など、様々に趣向を凝らして新風を吹き込み、豊国（三代）、広重と並ぶ人気絵師となった国芳。その偉業は、近代・現代にも引き継がれています。

本展は国芳展の決定版として、武者絵や戯画をはじめとした幅広い画題の浮世絵版画や貴重な肉筆画など、約400点を展示し、国芳の魅力を存分に伝えます。大阪では13年ぶりの、大規模な個展です。

見どころ

（1）イケメン、チョイワル、巨漢に怪童 ——「武者絵の国芳」による魅惑のヒーロー大集合！

3枚続きの大画面を活かしたダイナミックな構図、物語の決定的瞬間をつかむ描写力など、武者絵は国芳の手で大きく進化。その魅力は、現代の漫画やアニメにも通じます。出世作の「通俗水滸伝豪傑百八人之一個（舌人）」連作／シリーズから、最晩年の6枚綴りの大作《四条縄手の戦い》（前期のみ）まで、国芳の代名詞である武者絵の数々が一堂に並びます。

（2）お江戸を沸かせた“笑い”の力 ——機知に富んだ戯画の数々に、幕府の禁令も何のその

笑いを誘い、時に風刺を潜ませた戯画も、国芳の得意なジャンルの一つ。猫、金魚、鳥、さらには道具や玩具をも擬人化させたり、絵に二重の意味を持たせたり、言葉遊びを織り込んだりと、手を替え品を替え、多くの戯画を描きました。天保13年（1842）に、役者や遊女を描くことが禁止された際にも、戯画による笑いと風刺で苦境を乗り切ります。

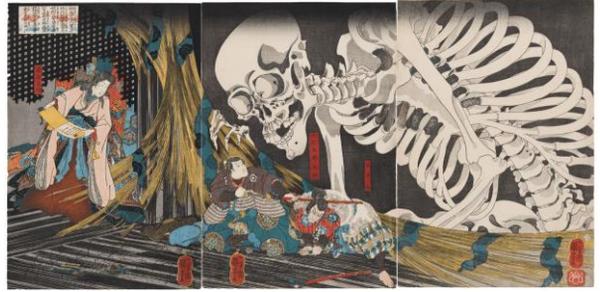
（3）猫を描いた新発見作品も！ ——愛猫家ならではのアイデアと観察眼が光る、国芳の猫たち

国芳は大の猫好きで、絵を描く時にも懐中で子猫を可愛がったと言い伝えられるほどでした。国芳の猫たちは、戯画、役者絵、美人画などジャンルの枠を超えて登場し、人気役者に扮したり、遊郭の客になったりと、人間顔負けの活躍ぶりです。本展では、**新発見作品の《流行猫の変化》（通期）**も展示します。

猫を描いた新発見作品！



《流行猫の変化》天保12 - 13年 (1841 - 42) 頃



《相馬の古内裏》弘化2 - 3年 (1845 - 46) 頃



《日本駄右エ門猫之古事》弘化4年 (1847)



《坂田怪童丸》
天保7年 (1836) 頃



《きん魚づくし ほんぼん》
天保13年 (1842) 頃



《遊女道中図》
嘉永元 - 3年 (1848 - 50) 頃
(後期展示)



《吉野山合戦》
嘉永4年 (1851) 頃



《鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘》
弘化2年 (1845) 頃



《忠臣蔵十一段目夜討之図》
天保2 - 3年 (1831 - 32) 頃



《みかけ八こ八あがとんだいゝ人だ》
弘化4年 (1847) 頃

開催概要

展覧会名：歌川国芳展 一奇才絵師の魔力

会 期：2024年12月21日（土）～2025年2月24日（月・休）

前期：2024年12月21日（土）～2025年1月19日（日）

後期：2025年1月21日（火）～2月24日（月・休）

休 館 日：月曜日、12月31日、1月1日 ※1月13日（月・休）、2月24日（月・休）は開館

開場時間：10:00～17:00（入場は16:30まで）

会 場：大阪中之島美術館 4階展示室

主 催：大阪中之島美術館、読売新聞社

協 賛：岩谷産業、S M B C日興証券、きんでん、大和ハウス工業、非破壊検査

協 力：ギャラリー紅屋

美術館公式ホームページ：<https://nakka-art.jp>

展覧会サイト：<https://kuniyoshi2024.jp>

お問い合わせ：06-4301-7285 大阪市総合コールセンター（なにわコール）

※受付時間 8:00～21:00（年中無休）

章 構 成：1 武者絵・説話 / 2 役者絵 / 3 美人画 / 4 風景 / 5 摺物・動物画 / 6 戯画 /
7 風俗・情報 参考資料 / 8 肉筆

◆本展の詳細は、2024年10月頃の発表を予定しております。

本展は、前期・後期で大幅な展示替えがあります。

《 報道関係者お問い合わせ先 》

「歌川国芳展 一奇才絵師の魔力」PR事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：06-6231-4440 E-MAIL：kuniyoshi2024@tm-office.co.jp